

農協と組合員をつなぐ広報誌

# なかしゅんべつ



ご卒業おめでとうございます!

3月17日に中春別小学校卒業式が行われ、6年間学んだ学校を後にしました。先生方やお父さん、お母さんに感謝し、中学校生活へ夢を持ってはばたいてください。



## 4月号

2016 Vol. 459

# ステップへと飛翔

中春別小学校卒業式

## 新たなスタート地点に立ち一歩前進

中春別小学校卒業証書授与式が3月17日(木)執り行われました。



緊張した表情の卒業生、春からは立派な中学生になります

在校生や先生、保護者が見守る中、着なれない大きな制服を着て入場した17人の卒業生。一人ひとり名前を呼ばれると、大きな声で「はい！」と返事をし、校長先生から卒業証書を受け取り握手を交わしました。壇上から降り来賓に一礼する姿は、とてもたくましく輝いていました。

お別れのことばでは、在校生から行事、縦割り班活動、6年生との楽しかった思い出などを振り返り「優しい6年生をいつまでも忘れません」と大きな声で最後のお別れをし、卒業生からは6年間の思い出、保護者、先生方、在校生に感謝の気持ちや伝え、一人ずつ「将来の夢」を語りました。

式の最後には卒業生と在校生が向かい合い、在校生から「見えない翼」、卒業生から「友々旅立ちの時」を合唱しました。在校生にとってたくさんの思い出が詰まった校舎で涙を流し、感謝の気持ちを体育館中に響



校長先生から一人ひとりに卒業証書がわたされました

かせました。中学校生活3年間は長いようであつという間に毎日にかかっています。その時にしか出来ないことを全力で楽しんでたくさんの方を学び、自分の将来の夢に向かって一歩ずつ前進してほしいと思います。3年後、大きくなったみなさんの成長を楽しみに応援しています。



たくさんの思い出が詰まった大好きな校舎、6年間お世話になりました



# 学び舎を後に次の

僕たち、私たちが、  
夢に向かって前進します



「君たちは最高の生徒です」と涙をながす担任の先生

中春別中学校の卒業式が3月14日(月)に行われ男子9人、女子5人の3年生14人が3年間の思い出が詰まった学び舎を巣立っていきました。

入場曲と共に緊張した表情の卒業生が入場し、我が子を優しいまなざしで見守るお父さん、お母さんたち。

中学校生活最後の校歌が校内中に響き渡り始まった卒業式。全校生徒で校歌を斉唱し、校長先生より一人ひとりに卒業証書が授与され、込み上げてくる涙を我慢する生徒や校長先生と握手をする生徒もいました。

在校生からの送辞では「部活や私生活でたくさんのお世話を教えてくれ今までお世話になった先輩たちへ」心から感謝の気持ちを伝えました。答辞では「3年間学んだ



在校生からプレゼントをもらいました



少し照れながらも担任の先生と最後の握手

ことを活かして高校生活も頑張りたい」とお世話になった先生、在校生、両親に感謝で応え、新生活への決意を示しました。昨年、在校生代表として送辞を読んだ生徒が、今年卒業生として答辞を読んでいる姿はひとまわり大きく成長し輝いていました。



式の最後に在校生から「明日へつなぐもの」、卒業生からは「絆」を互いに向かい合い涙をこらえきれず、別れの合唱をしました。

最後のホームルームでは生徒一人ずつ教室の前に立ち3年間共に過ごしてきた



3年間夢になって頑張った野球部の仲間たちとガッツポーズ

仲間、担任の先生、育ててくれた親に感謝とこれからの抱負を一言。別れを惜しみ感極まって言葉を詰まらせる生徒もいました。ホームルーム後は部活動のグループで集まり、手を繋ぎ輪になって歌い記念写真や後輩たちからプレゼントを受け取るなど最後の挨拶を交わしました。見慣れた制服を着るのもこの日が最後となった卒業生。春からは新しい制服で胸を張り、たくさんの方に挑戦し更に成長した姿を見せてくれると期待しています。

# 女性がイキイキ活動 できるために

中春別農協女性部通常総会

第42回中春別農協女性部通常総会が3月16日(水)、農業者団地センタートレーニング室にて開かれました。

開会にあたり齋藤部長より挨拶があり、続いて来賓の中春別農業協同組合藤倉副組合長理事、中春別酪農対策協議会西川会長、JA根室地区女性協議会畠山会長より挨拶をいただきました。



事業報告並びに収支決算について、議案第2号「平成28年度事業計画(案)並びに収支予算(案)」について、議案第3号「平成28年度会費の賦課並びに徴収方法について」、議案第4号「規約改正について」、議案第5号「役員の変更について」がそれぞれ可決承認されました。

議案第4号「規約改正について」、議案第5号「役員の変更について」がそれぞれ可決承認されました。議案第4号「規約改正について」は齋藤部長より「規約第3章第9条では現在『監事は、毎会計年度2回以上会計面を監査する』としておりますが、『毎年2回以上』を『毎年1回以上』に変更いたしたい」と説明をいただきました。

議長には豊原地区の牧野さおりさんと美原地区の尾形好枝さんが指名され、議事に入りました。

28年度行事も引き続き自己スキルアップのため各種勉強会・講習会・部員間での交流の場の提供をしていき



新役員のみなさん

たいと考えております。

新役員は次のとおりです。

- |     |       |
|-----|-------|
| 部長  | 齋藤 道子 |
| 副部長 | 馬場 良子 |
| 理事  | 南澤 順子 |
|     | 望月 千恵 |
|     | 上神佳代子 |
| 監事  | 原内 友子 |
|     | 木原 幸恵 |
|     | 山本まり子 |

## 女性部では加入者を募集しています

女性部では加入者を募集しています。同じ酪農業を営む仲間として、交流や意見交換をできる仲間を女性部を通して見つけていただければと思っております。お花に興味がある方は園芸グループ、お菓子作り、エコクラフト作りなどをしてみたいという方には趣味の会、現役を引退し、仲間たちとゆつくり過ごしたいという方には木の実部会、小さなお子様連れでも気軽に参加していただけるフレッシュユミセス部会があります。同じ趣味や年代の仲間たちと一緒に活動してみませんか? この他にも1年を通して様々な活動を行っております。宿泊研修や料理教室など、楽しい催しもたくさんありますので興味のある方は農協女性部事務局(電話76-2241番)までご連絡ください。



各農協から女性部代議員が出席されました

J A 根室地区女性協議会第60回通常総会  
**各農協から女性部代議員が集い、  
 事業計画を承認**  
 海外視察研修参加報告

J A 根室地区女性協議会の第60回通常総会が3月29日(火)に根室農業会館で開催され、各農協から女性部代議員ら関係者が出席しました。

総会では議案第1号「平成27年度活動報告並びに収支決算の承認について」、議案第2号「平成28年度活動計画(案)並びに収支予算(案)の設定について」、議案第3号「平成28年度会費の賦課徴収方法(案)について」、議案第4号「役員の変更について」それぞれ満場一致にて可決承認されました。また、役員改選は次の通りです。



新役員のみなさん

- |     |                    |
|-----|--------------------|
| 会長  | 畠山 友子              |
| 副会長 | J A 中春別<br>長谷川希美   |
| 副会長 | J A けねべつ<br>大内 洋子  |
| 副会長 | J A 道東あさひ<br>大内 洋子 |
| 監事  | 齋藤 道子              |
| 監事  | J A 中春別<br>川瀬 香苗   |
| 監事  | J A 標準<br>川瀬 香苗    |

総会終了後は J A 根室地区女性協議会幹部部員研修

会が開催され、「平成27年度 J A 北海道女性協議会海外視察研修参加報告」を J A 中標準女性部の藤井部長より報告していただきました。

「ドイツ視察研修に行き現地の生活、農業を知り、今一度、日本・北海道の農業を見直し、私たちの生活が恵まれ豊かであると感じ大切にしていこうと思いをいただきました」と説明・感想をいただきました。また、女性部加工品ギフトのアイスを参加者全員で試食しました。



報告をする藤井部長

# 入植者の苦労があつて、 今の豊かな酪農郷に発展する

根釧パイロットファームの開拓事業が60年を迎えるのを祝し、「根釧パイロットファーム開拓60年を語り伝える会」が3月25日(金)、旧豊原小学校体育館で行われました。始めに青野豊原連合町内会会長より「今振り返ると



開拓当時のフィルムを見入る青野さん(右)と高橋さん(左)

60年もやってきたという気はしないが、もうそんなになるんだなあ。当時の人などのように苦労したかということを思つて、現在の事からこれからの酪農の発展などを話し合つていただければ」と挨拶があつた後、西

原別海町町議、真籠別海町教育委員会教育長から来賓の祝辞をいただき、中標津警察署中春別駐在所高橋氏の乾杯の後、開拓当時のフィルムが壇上で映し出され、機械により木々が押し倒され、見る間に開拓されてい



く様子や、汗と涙で辛抱強く営農してきた開拓者の姿に会場は見入りました。上映後、「あの当時は牛2頭の他に馬1頭、プラオやレーキなどがあつたので馬に曳かせて畑を起こし現金収入が見込めるビート、いも、



「お互いに何とかやってきたな」と懐かしい思い出話に

えんどう  
豆や菜種、  
亜麻など

いろいろな作物を作つて換金していたものさ。それではなければ食つていけなかつたんだから：、「若かつたから多額の借金を背負つて



若い人も多く出席され、過去、現在、未来へと話もはずみでした

でも何とか乗り越えてこれたんだろうなあ」と苦労も時が経つと懐かしい思い出話に。青野一枝さんに「せつかく来たのだから資料館も観ていつ」と案内され、昭和30年代から40年代を中心に豊原の歴史が写真で数多く残され、展示さ

れていました。床丹第2地区へ昭和31年から昭和33年の間に187戸が北の大地に夢を抱いて入植されてきました。オーストラリアからきたジャージン牛にブルセラ病をもつた牛がいたりして苦労したことや、当時の生活模様、農作業風景を拝見しながら、青野さんの説明に「この地で一旗あげてやるぞ!」という若い人たちの気概が伝わってきたのと同時に、この地を去つていった仲間も多くなりました。

今の豊かな酪農郷は入植された人たちの苦労と頑張り、そして未来の酪農の夢を追い続けてきたからではないでしょうか。

これから80年、1世紀と後世に入植からの貴重な映像、写真、話しを次の代へと語り継いでいってくださることを願っています。

また、旧豊原小学校内にあります豊原開拓資料館が5月から「別海町郷土資料館豊原分館」と名称が変更になり、別海町が管理・運営することになりました。



中春別地域畜産クラスター協議会臨時総会が3月8日(火)、中春別農協役員会議室にて開催されました。平成28年度の中春別地域畜産クラスター計画については、国の酪肉

# 「人・牛・飼料」生産基盤強化の取り組み

中春別地域畜産クラスター協議会臨時総会



近基本方針や北海道の生産基盤強化のための「人・牛・飼料」の取り組みに基づき、地域の課題である①担い手対策②草地更新率向上③飼養頭数増加を基本方針に掲げ、地域のクラスター計画の作成をいたしました。

臨時総会には、関係機関や各組織代表者が出席し、議案第1号の中春別地域畜産クラスター計画(案)について提出され、全議案可決決定されました。

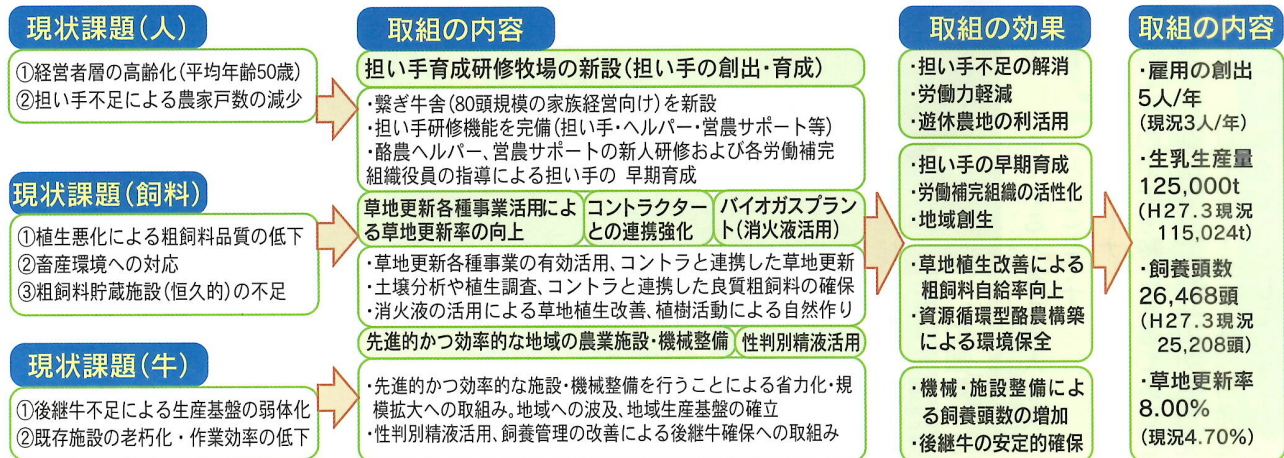
中春別地域畜産クラスター計画の取り組みを中春別地域全体で行うことにより、補助付き関連事業(機械リース・施設整備)が活用できることとなっております。中春別地域畜産クラスター計画(下記に掲載)目標達成に向け、皆様のご理解ご協力のほどお願いいたします。

## 中春別地域畜産クラスター協議会 ~未来ある地域づくり~

### 地域の課題・対応

経営者層の高齢化により家族経営農家における離農が進行。今後、酪農専業地域として生産基盤を構築し生産量を維持拡大していくためには地域としてどのような取り組みが必要なのか？

- ①担い手育成研修牧場を新設し、担い手確保および就農に向けた人材育成、地域の労働力確保を行い、未来ある地域づくり活動を実践。(人)
- ②良質粗飼料を確保するため、コントラクター等と連携を図り、草地更新率の向上・良質粗飼料確保による生産性の向上を実施。(飼料)
- ③先進的な施設整備・機械導入をおこない、規模拡大・省力化を進め、性判別精液の活用や飼養管理の改善による生産基盤の確立を図る。(牛)



メガロボットファーム カーム角山

# 少ない労力で多くの牛を管理

ヤンマーアグリソリユーションセンター

## 最新のトラクターと作業を見学

小林 義敬

3月10日から1泊2日の日程でみらい塾8期生5人は農協経営相談課職員5人と共に江別市のカーム角山とヤンマーアグリジャパン株式会社北海道カンパニーを視察しました。

当日は空路で中標津空港から新千歳空港へ入り、レンタカーで江別市へ移動、その足で札幌市へ戻り宿泊しました。綿雪が降る中で視察となりましたが屋内の視察がメインであったため行程に大きな影響は出ませんでした。

### カーム角山を視察

最初に訪ねたカーム角山は、アジア初のロボット搾乳機8台を導入したことで有名なメガロボットファームです。近隣の5軒の農家が集まり設立しましたが、各

農家はロボット搾乳の経験はおろかリーストール牛舎の経験すらありませんでした。

もともと、1軒の農家が飼育していた牛は50〜60頭ほど。すべて繋ぎ牛舎で飼育しており、その牛をリーストール牛舎で飼養し、その上ロボット搾乳を行うため、環境の変化に馴染めない牛がほとんどで、なんとか馴染めた牛や、初産牛を中心に150頭ほどからスタートし、2015年の4

月から11月にかけて合計340頭の牛を購入し、ようやく外部の視察を受け入れられる体制が取れたそうです。初めのうちはとにかく牛をそろえるため、血統の良い牛からジャージー牛まで様々な牛を集めましたが、その中でロボット搾乳に最も適した牛は道北出身

の牛でした。この時の平均購入価格は55万円。初産牛が高騰する直前で買い付けが終わったのは幸いとのことです。

ロボット搾乳している340頭の初産割合は93%。平均個体乳量は31.8kgです。

システムはすべてテラバル社で統一。これは、ロボット搾乳機とバルククーラ、ハーブナビゲータなどを一つのメーカーで統一することでシステム全体の能力を十分に発揮させ、最大限の省力化を図ろうと考えたためです。

カーム角山は国内唯一の20tバルクタンクを導入しており、そのメンテナンスは2時間ほどかかります。ロボット搾乳は24時間搾乳し続けるため、バルクタンクがメンテナンスの間は1.6t



カーム角山の川口谷専務による説明

対して行うメンテナンス作業はフィルタの交換のみであり、バルクタンクのメンテナンス時間が大幅に削減できたとです。

ハーブナビゲータはロボットで搾乳された生乳から、発情、血乳、ケト、乳房炎の兆候を知らせてくれるもので、500頭もの牛を人の目だけで観察することは不可能であると考える導入を決めたこととです。

のバツファタンクが稼働します。バツファタンクへの切り替えや、バルクタンクの冷却はすべて機械が管理しており、搾乳した生乳の挿入量により冷却能力が調整されます。人間がバルクタンクに

ハードナビゲータの機能の中でも特に秀逸であると強調されていたのが発情発見で、メーカーは発情発見率を95%としています。



実際に90%以上の確率で発見でき、外部兆候の出ている牛も発見できるので、人間による観察以上の効果が出ています。1頭が出産してから次の受精までに、試験紙などの費用に2万円1000円ほどお金がかかります。



バイオガスプラントも導入しています

ますが、2万円で発情はもとより乳房炎なども管理できると考えれば安いと判断していた事も購入の決め手の一つと聞きました。ロボット搾乳機は意外とシンプルなつくりで、ある程度の故障は自分たちで修理可能であり、今のところ大きな故障は出ていないとのこと。

よくロボット搾乳は非効率であるといわれますが、確かに搾乳を短時間に終わらせるという意味では人間のほうがはるかに高能力です。しかし、感情のもつれによる手抜きをすることもなく、ある程度の時間をかければ絞り終えるので、今まで搾乳に費やしていた時



実際にロボット搾乳をしている所を見せていただきました

間を別の作業に充てられると考えれば導入する意味はあるとの結論に至ったそうです。牛のロボットへの移動はミルクファーストで制御しており、搾乳してからエサを与える造りです。ロボットで与える配合飼料の量は少なくし、必要な量の配合はTMRに多く混ぜています。飼料の量は1頭当たり3kg程度与えています。また、ミルクファースト通行制御システムはセレクションゲートで牛の通行を制御しており、これにより任意の牛がどのエリアにいるかパソコン

ですぐに確認でき、不完全搾乳牛や病気などの理由で治療が必要な牛を比較的簡単に追い込むことができます。ロボットが乳頭を見つけれなかったことなどに

より発生する不完全搾乳牛は、朝晩2回手作業で人間が搾っています。このような牛は1群につき12頭程度は出てしまいます。

牛が移動する歩行空間は60mあり、そのような距離を牛が歩くか計画段階から懐疑的でしたが、ゴムマットを敷いたことにより、牛はしっかりと歩いています。今のところゴムマットで滑るというような事故は起きておらず、コンクリートより

いいのではないかと考えているそうです。搾乳ロボットで搾乳している牛の中で一番多く出入りしている牛は1日に5回入り60klほど搾られています。この牛は初産牛であり、通常初産で60klという一般的な乳房を壊してしまうと言われてい

ますが、乳が張る前にロボットに入り、すぐに出てくるという事を繰り返しており、今のところ乳房が壊れるような雰囲気はないとのこと。このほかにもチェーンスクレーパー、エサ押し用のパトラーフードプッシュャー、給水器、スイングカウブラシなど、可能な限りの省力化

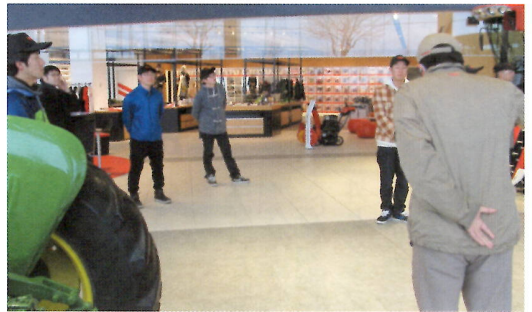
が図られた近代的な牛舎でした。

カーム角山の構成員は12人で、内訳は事務職が1人、ロボット牛舎担当が6人、分娩、治療、出荷担当が2人、哺育棟担当が1人、ロボット牛舎と別にあるつなぎ牛舎で5頭の面倒を見ている担当が2人となっており、このうち、哺育棟担当の1人と、つなぎ牛舎担当の2人は各農家の奥様です。

付随している施設のバイオガスプラントは土屋製作所製で、プラントの運用は遠隔監視で行われています。都市に近い立地であるため売電がうまくいっており、今のところ順調と言っていました。今後は戻し堆肥を敷料として活用し敷料のコストを削減したいそうです。

### ヤンマーアグリソリューションセンターを視察

次に向かったのはヤンマーアグリソリューションセンターです。ヤンマーやジョアンディアの最新酪農機械に触れることができました。始めに訪れたナレッジセン



ヤンマーアグリソリューションセンターの説明

ターは、入り口を入ると、右手におしゃれなカフェ、左手にはグッズ売り場がありTシャツや帽子、つなぎなどがとてもたくさん販売され

ていました。

農機具メーカーというと一般的には華やかさとは縁遠いイメージですが、このイメージを払拭するような明るく広くきれいなショールームでした。

この建物には研修ルームがあり、こちらの部屋で施設全体の概要をお話しいただきました。

初めに、ショールームでヤンマーとジョンディアの最新トラクターを見学、その裏でエンジンをばらしてパーツごとに展示されたエリアを見学しました。

次に、大型農機センターへ移動し、往年のジョンディア

のトラクターから最新の大型高性能トラクターまでの説明を受けました。このセンターでは輸入したトラクターを日本国内の法規に合致させる改装を行い品質チェックしている姿を見学しました。

続いて、全天候型多目的ハウスへ移動し、ハーフトラック構造のトラクターに試乗しました。ここで試乗したトラクターは無段階変速機を搭載しており、収穫作業にとっても向いている構造となっていました。2種類のエンジン回転数をセットできるシステムがあり、作業内容によって指定の速度、エ

ンジン回転数に瞬時に切り替えられるというのが売りとの事です。旋回能力もとても良好で、小回りの利くトラクターでした。

最後に北海道流通センターへ移動し、豊富なパーツが取り揃えられている様を見学しました。このセンターにないパーツは全国から航空便で発送し、注文日の翌々日には注文者のもとへ届くそうです。

視察を終え、雪の降りしきる中、センターの皆さんが外で長い時間、手を振っていただいたことがとても印象に残っています。

視察を終えて、カーム角

山は多くの牛を少ない労力で管理することを目標に試行錯誤している牧場であると感じました。私が目指している、比較的規模の小さい家族経営農場の省力化とはまた種別が違いました。

ヤンマーアグリソリューションセンターでは自分たちが日々使っているトラクターがどのような方々の手によって作られ手元に届くのか、その仕事姿を見ることができたことはとても有意義でした。また、最新のトラクターはどのようなものか、実物を見られたこともとても良い経験になりました。

地元の良質牛乳がたっぷり！コクと風味

# 4月29日(祝)ミルク王国 オープンします!!

甘過ぎず  
さっぱりとした味

メニューも豊富！



4月29日(祝)よりミルク王国の営業を始めます。別海町の牛乳をふんだんに使用したソフトクリームで、当地区の生乳も使用しています。「甘すぎず、サッパリとした味」子供からお年寄りまで幅広く好評いただいております。

商品は、ソフトクリーム、アイスクリーム、シェイクなど豊富なメニューを取り揃えており、キャラメル味、マスカルポーネ味のソフトクリーム数種類を週替わりで販売いたしますのでご興味ください。

- 営業期間 4月29日(祝)～9月下旬
- 営業時間 午前10時～午後5時まで

※毎週木曜日は機械洗浄のため、通常営業時間より1時間早く閉店となります。また、悪天候も閉店とさせていただきますのでご了承ください。

# 草地の確認と施肥の注意点

## 1. 草地の状況を 確認しましょう

【凍害の有無】

今冬は根雪が遅く、また、少雪により土壌凍結が、平年より深く入っている地域があります(表1)。

4月下旬から5月上旬頃になると牧草が芽吹き(萌芽)、草地が緑色になり始めますので、凍害

による冬枯れの状況を確認し、手で引つばるとすつぱり根から

表1 土壌凍結深と積雪深(2/15時点)

町村	地区	凍結深		積雪	
		2/15	平年	2/15	平年
根室市	3力所平均	-25.5	-28.5	4.3	15.4
別海町	5力所平均	-41.8	-29.3	19.8	36.3
中標津町	武佐	-21.5	-16.5	37.0	54.5
	俵橋	-46.9	-23.1	1.0	47.1
	豊岡	-34.5	-31.4	23.0	31.3
	当幌	-32.0	-31.4	20.0	31.3
	上標津	-49.2	-24.4	37.0	43.2
標津町	古多糠	-22.5	-8.1	33.0	55.9

※普及センターホームページより引用

抜けてしまう牧草は、被害を受けています。特に、マメ科牧草や前年に更新した新播草地、オーチャードグラス、ペレニアルライグラス(近年、放牧地で利用が増加)等は凍害に弱い

## 2. 施肥は適期に行いましょう

【施肥時期】

牧草の収量は、施肥時期の影響を受けます。「萌芽」が始まり、これから生長し始める時期に養分が無いと茎数が増えず、収量が低下します(図1)。

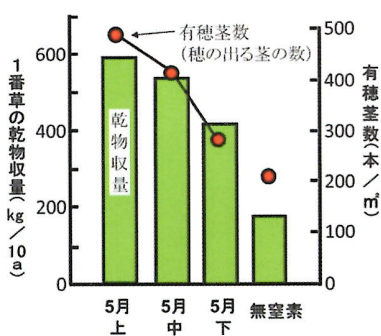


図1 早春の施肥時期が1番収量、有穂茎数に及ぼす影響(根創農試1986)

土壌凍結が抜け、草地に機械が入れるようになったら、速やかに施肥

を行いましょ。

## 3. スラリー散布によるサイレー ジへの影響

スラリー散布の場合、量・時期・粘度(濃度)の条件によって、スラリーが牧草に付着しサイレージへ混入しやすくなるため、注意が必要です。

【量・時期】

スラリーの散布量が遅くなるほど、サイレージへの混入量が増え、サイレージ品質を低下させます(図2)。

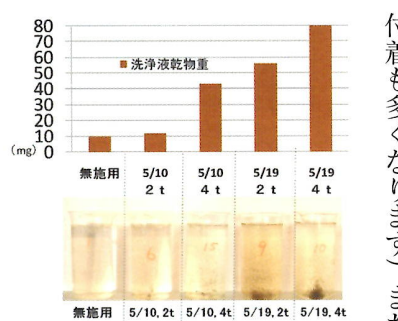


図2 スラリー散布方法(量・時期)の違いによるサイレージ原料草の洗浄液の比較(H22「サイレージの達人」より)

の硝酸態窒素濃度は、過剰な量の施用、散布から収穫までの期間が短い

と高まります。散布機械などの準備を計画的に立てて、速やかに散布出来るようにしましょ。

【粘度(濃度)】

スラリーの粘度は、処理方法(固液分離、ばつ気、加水、バイオガスなど)によって様々です。「どろっと」したものは、牧草に付着しやすくサイレージ品質の低下原因となります(図3)。



図3 スラリーの性状とサイレージ品質の関係(H22「サイレージの達人」より)

ばつ気や加水によって粘度を下げ散布すると、牧草への付着を少なくすることができ、可能な範囲で取り組むことをおすすめします(詳しくはH22年発行「営農改善資料」サイレージの達人を参照)。

たい肥散布の場合も散布遅れに留意し、塊が目立っていたらパスチャ―ハローなどをかけて砕いておきま





「今、はまっているの!」と出来上がったエコクラフトの作品を前に笑顔の阿部郁子さん

# 手先を使つて物づくりをするのが好きなの!

美原地区にある「阿部工房」さんにお邪魔して、「押し花」のお話を阿部郁子さんにお聞きしました。

気さくに出迎えてくれて 招かれるままに工房に入ると、そこには素晴らしい作品が所狭しと飾られ、額縁に入った緻密なつくりの「押し花」に目を奪われました。成15年頃、別海町在住の友達の娘さんが、中標津町「しるべつと」で資格を取得した



3~4カ月かけて造りあげた文化刺繍の大作。長く飾っていると徐々に色があせてきますが、それがなんとも言えない風景を作り出します



押し花で表現した風景画、思わず近くで見入ってしまいます

後、美原会館で地元の人を中心に講座を開き、阿部さんも基礎から6回のコースで入会されました。技術を習得してからは庭の花や近くの野草を採取し、専用の押しマット(乾燥マット)に10kgの重しを乗せ3~4日おき、水分をとって「保存袋」に入れ大切に保管します。また、本来持っている花の色を落とし、色を付け直してアレンジしたり、トウモロコシの皮も風景を造るのには欠かせない材料とのこと。ハツとする写真や絵に出合った時、「これを押し花でつくりたい!」と創作意欲をかき立てられたら、カラーコピーで写真などを拡大し、それを基に作品づくりが始まります。そこで活躍する

のが、今まで大切に保存しておいた押し花たち。49型くらいだと3日くらいでいい気に仕上げないと湿度が入り色落ちするので途中で中断する時は、大きな「保存袋」に入れ次の日続きをします。出来上がった作品は友達の新築祝いなどにプレゼントし喜ばれています。また、40年程前からされている「文化刺繍」は師範の資格を持ち、見る人を驚かせる程の出来映えで、何色もの糸を一刺し一刺ししながら濃淡をつけ、遠近感をつけていきます。完成するまで3~4カ月要するそうです。作品を拝見していると、そのどれもが阿部郁子さんの人生その時々を刻んでいる

るようです。  
「エコクラフト」でバッグづくり  
最近、阿部さんがはまっているのが「エコクラフト」。5年程前、別海中央公民館でエコクラフト開催の募集チラシが入り興味津々。ただ今でも趣味が多いので1年我慢した結果、「やっぱりエコクラフトをやりたい!」と、月に2回、別海中央公民館へ講座を受け、現在も通っています。エコクラフトは紙でできていて、材料は通販で取り寄せ作品はエコクラフトの専門の本を見ながら、12本幅の太さを基本に作品に応じて裂いていき、バッグを作成していきます。サークルに入つて「バッグを造りながら、おしゃべりを楽しんで」と多くの人と交流もふえました」と嬉しそう。中には弁当持参で阿部さんの工房へ遊び方々習いにくる人もいます。先生から「資格をとつたら?」と薦められるのですが、「気ままに教えている方が性に合っているの」と明るく気さくで、笑顔がとっても印象的な阿部さんでした。

# 北海道酪農の 今後の展望

## 酪農活性検討会

酪農活性検討会（伏見廣会長）は3月19日（土）に「酪農講演会TPP合意と農業改革〜北海道酪農の今後の展望〜」と題して開催し、東京大学大学院教授の本間正義氏を講師として迎えました。

当日は酪農家や農業関係者およそ50人が参加しました。

現在、飲用乳の需要は



東京大学大学院教授の本間氏を講師に迎え酪農のこれからへの展望を講演していただきました。

少子高齢化の影響を受けて減少しているものの、生産者の高齢化などによって減産はそのペースを上回っており、本州で見られるバター不足の問題を引き起こしています。また輸出について、牛肉を例に挙げると和牛はBSE・放射能問題で一時、停滞していましたが、近年は盛り返しているもののプロモーション活動はブランド和牛の代表として松阪牛、神戸牛は国外で行っています。個別に実施している状態で連携して行うべきでプロモーション活動を行う場合は、生産者と関係機関が商社で流通について学ぶ必要があります。道内産では十勝川西長いものが輸出量を延ばしています。

日本農業の新たな取り組みとして、15年度6次産業化表彰事例を紹介し、毎年120件ほどの農水産品の応募から6事例選出された内容の会社の経営理念のほか、地域への貢献や取り組みの内容が説明されました。

# 就農就業支援連携協定 調印式を行う

東京コミュニケーションアート専門学校とJA中春別

東京コミュニケーションアート専門学校との就農就業支援連携協定調印式を3月11日（金）当専門学校にて行いました。

今回の協定では、当JAの担い手確保やJA中春別ヘルパー利用組合・中春別営農サポート協議会の労働力確保の拡充と当該学校の学生進路の選択肢を広げたいと双方の目的が一致し、地域の枠を超えた協定を結びました。平成26年度に茨城県鯉淵学園農業栄養専門学校と締結して以来、2校目となります。

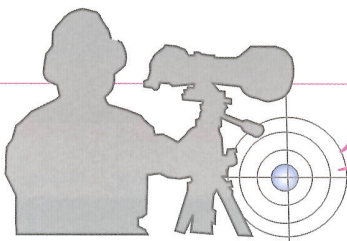
当日は高山副校長、濱事務局長、佐藤キャリアセンタールーム長をはじめ多くの学校職員並びに酪農に興味のある学生が多数出席し盛大に開催され、副校長・組合長の挨拶より始まり、当学校・JA中春別の概要説明を経て、協定が締結されました。

## 就農就業支援連携協定調印式



協定書にサインを交わした後、堅い握手を交わす左から藤倉副組合長、小湊組合長、東京コミュニケーションアート専門学校濱事務局長と高山副校長

当学校においては、平成27年度にヘルパー利用組合1人、サポート協議会2人の受け入れ実績があり、協定締結を機に今まで以上に密な情報交換を行い、今後とも労働力人員確保につなげてまいります。



## クローズアップ 豊原 南澤三郎さん

# 南澤さん「道東・別海の四季」 写真集IIを自費出版されました

豊原地区・南澤三郎さんが「北の四季の詩」に続く自身2冊目となる写真集「道東・別海の四季」を出版されました。



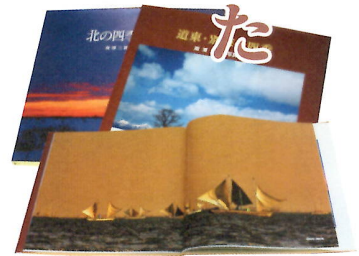
今回の写真集は2年ほど前から道東、別海町をテーマに撮影した風景をまとめたもので、別海十景と普段見慣れた別海の風景をカメラの写真映像をとおして表現した写真集です。昨年の11月頃より中

集し95ページの写真集ができました。今回完成した2冊目は、南澤さん自身が打瀬舟に乗り、被写体の北海しまえび漁をする打瀬舟を長年の感でモードを変えて撮影。また、雪原の牧場全体が夕日に映え、ピンクに染まる瞬間を

谷デザイン事務所へ出向き、2人でパソコンの画面を見ながら1カ月ほどかけて1ページずつレイアウトし、迫力のあ

る見開きページを多くして、道東と別海の2部に編み込んだ。捉えたり、その一瞬、一瞬を切りとった力作ばかり。写真集を手にとりて観た人を魅了するできとなりました。「まだまだ満足のできる写真集ではないが、別海町には四季をとおして美しい自然風景がたくさんあり、広大な放牧地に乳牛の群れ、朝日に輝く樹木、澄んだ青空、赤く雲を染める夕日など、これからも体力と時間の許す限り撮り続けたいと思っている」と、まだまだ意欲十分な南澤さんでした。

なお、当JA金融共済課待合室において1冊目、2冊目がそれぞれ展示されていますので、お立ち寄りの際ぜひご覧になってください。また、別海町図書館にも収蔵されています。



### 農業者年金を受給されている皆さまへ

## 現況届は忘れずに提出を!

現況届は、年金を受給するために必要な毎年の手続きです。

#### 現況届の用紙が届くのはいつ?

5月末日頃に直接受給権者ご本人あてに農業者年金基金から送付されます。

#### 現況届の提出はいつ?

5月末日頃に直接受給権者ご本人あてに農業者年金基金から送付されます。

#### 現況届の提出を忘れたら?

11月支給分から年金の支払いが差し止めになります。

#### ①経営移譲年金・特例付加年金を受給している方

受給権者ご本人が、農地等を取得するなどして農業を再開していないこと(初めて現況届を提出される方は、農業所得の申告などの諸名義が経営移譲の相手方に変更していること)などをお確かめのうえ、現況届に署名・記入して6月30日までに農業委員会に提出し内用の確認を受けてください。

#### ②農業者老齢年金を受給している方

受給者ご本人が、現況届に署名・記入して6月30日までに農業委員会に提出してください。

※上記①または②において、受給権者ご本人が署名・記入することが困難な場合は、代理人(親族等)が署名・記入をしてください。

※現況届は、農業委員会のほか、役場の各支所・連絡事務所へ提出していただいても結構です。

# 北海道別海高等学校 酪農経営科・専攻科だより

## ●【酪農経営科】農業クラブOB会入会式

2月26日(金)、卒業式に先立ち、農業クラブOB会入会式が本校体育館で行われ、今年度の卒業生12人が新たにOB会に加わりました。入会式では、小椋事務局長



OB会入会式の模様

より「OB会入会に対するお祝いと別海高校酪農経営科に対する応援団として少しでも協力してください。」と激励の言葉をいただきました。新入会員を代表して内田佑机君が「これまで農業クラブ行事で支えてもらい感謝しています。これからは卒業する酪農経営科の行事に少しでも力になれるよう頑張ります」と決意を表明しました。暴風雪の影響で実施が不安視された卒業式も3月1日に無事挙行されました。全日課程7期生も無事に社会に巣立っていきました。在学生共々、今後も地域のみなさまのご指導をよろしくお願いしたいと思います。

## ●【酪農経営科】花苗生産たけなわ!

毎年ご好評いただいております温室での花苗生産が今年も最盛期を迎えようとしております。昨年の12月よりは種をはじめ、現在はポリポットへの移植作業がたけなわ



鉢上げ作業の様子

となっております。これらは町内会や各団体の花壇に飾られると共に各家庭用にも販売します。今年5月14日(土)に本校温室にて即売会を開催する予定です。是非ご利用くださいますようお願い申し上げます。

## ●【経営面接指導】

2月23日(火)2年目学生の経営面接指導が実施されました。自家の1年間の酪農経営(組合員勘取引や資産台帳の変化・追加など)を経営管理ソフトを用いて月毎に入力し、年度末に決算を行い、損益計算書、期末貸借対照表と乳検データを元に、総合的な分析を行い、資料を作成し、面接に臨みました。根釧農業試験場技術普及室、農業改良普及センターや学生の所属農協より講師をお招きし、助言・アドバイスをいただきました。今後の経営の参考となる有意義な面接指導となりました。



経営面接指導の様子

## ●【修了証書授与式挙行】

3月1日(金)に本校において第43回修了証書授与式が挙行されました。各地区から日々登校してきた修了生6人が、在校生・教職員・来賓の皆様に見送られ2年間の課程を修了しました。別海町豊原の修了生代表青野大地さんは「これからも働きながら学ぶことで、酪農を今まで以上に理解し、さらに前に進んでいきたいです」と堂々と答辞をしました。



第43回修了証書授与式

## ●【基礎研究発表会実施】

3月15日(火)に基礎研究活動発表会が実施されました。7人の1年目学生が1年間の自家経営について乳量乳質、繁殖成績、土壌分析の結果などをまとめ発表しました。学生代表の林さんは、「他の学生と比較できる良い発表会だった。私自身もこれからの経営の改善に生かしたい」と感想を述べていました。今後も継続して自家の課題解決学習に取り組み、経営者・酪農従事者としてのスキルアップにつなげてくれればと思います。



基礎研究発表会

## ●【農業特別専攻科とは?】

農業特別専攻科とは、自家で働きながら学校で農業の理論を学ぶ課程です。このような課程は現在全国に5校しかありません。本校では牧草の収穫時期には家で実践を、春・秋・冬は学校に通学して理論を学びます。また、登校時間は10時45分から14時30分までとなっていますので、毎日朝夕の仕事ができるようにカリキュラムが組まれています。酪農専門科目は土壌・牧草・乳牛飼養・乳牛繁殖・経営等の授業を開講しています。また、農業関係機関の専門家(獣医師・普及指導員など)の講義もあり、地域で起こっている問題や最新の農業情勢を学ぶことができます。2年目学生には海外酪農研修(選択授業・ニュージーランド)があり、毎年数名の学生が出発しています。この研修では約2カ月間1人1農場で実習を行いますので、酪農に対する幅広い見識を養い、人間性が高まる研修となっています。また、2年目の学生全員には修了研究活動(必修・大学の卒業研究のようなもの)があり、自家の詳細な経営概況やこれからの課題について理解を深め、問題を解決する力を身に付けます。

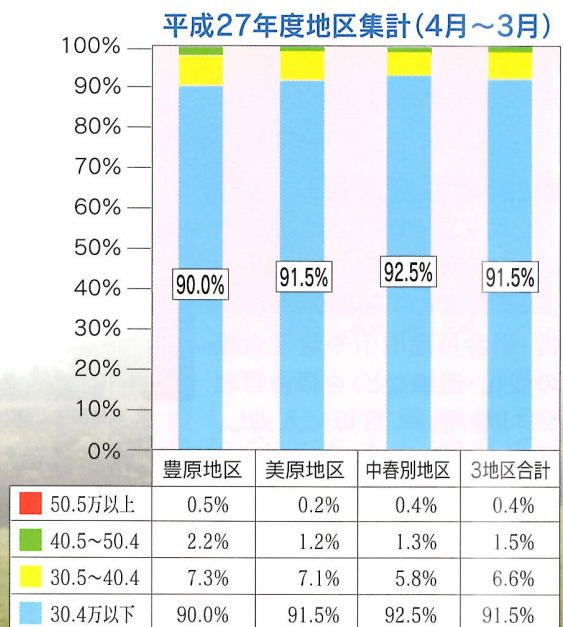
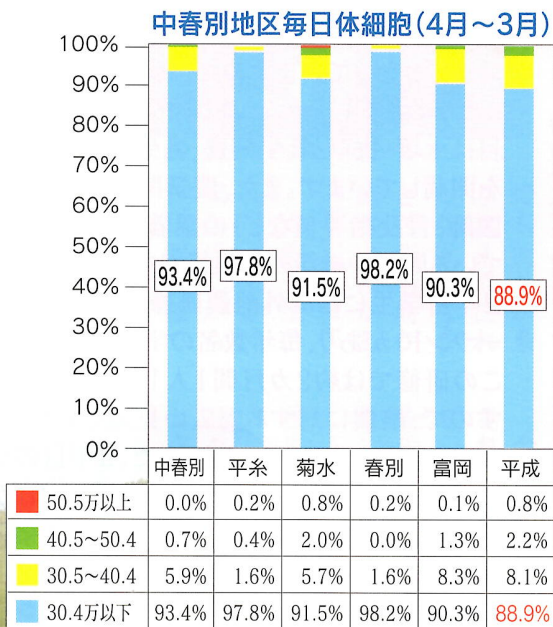
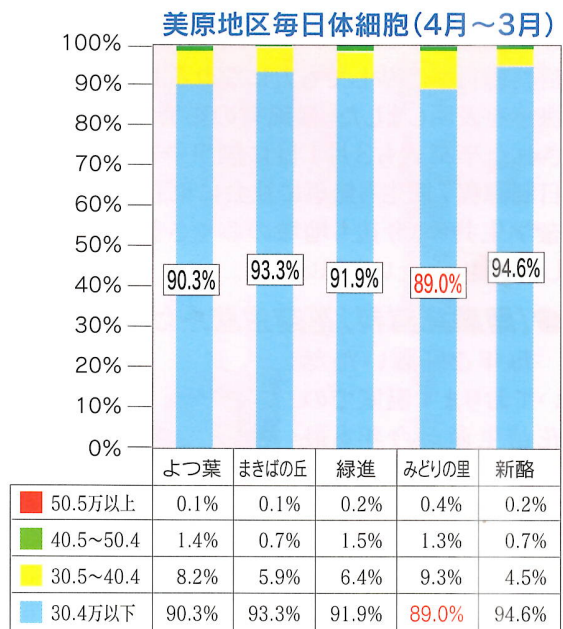
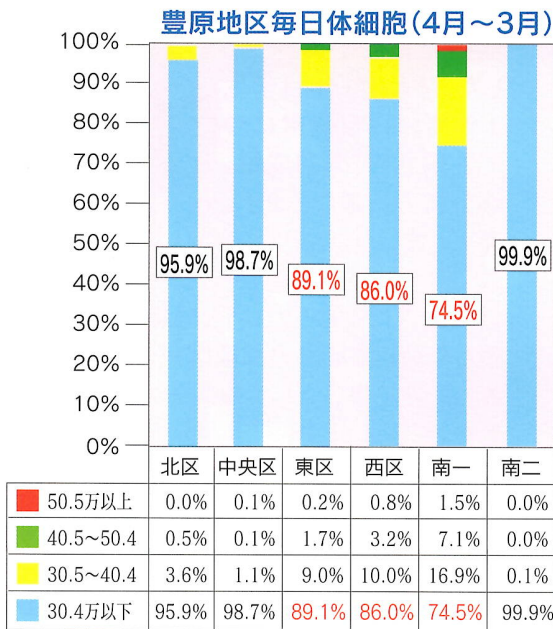
このように本校専攻科は地域に密着した教育と資格取得を含めた幅広い教育を実践していますので、興味のある方は是非ご来校ください。



生乳汚染事故を無くそう！

- **抗生物質混入事故**..... JA中春別発生件数 **3件** 管内合計では**9件**です。
- **生菌による汚染事故**..... JA中春別発生件数 **0件** 管内合計では**0件**です。
- **異物混入(小動物)、加水、血乳**による汚染事故... JA中春別発生件数 **0件** 管内合計では**4件**です。
- **異臭、異常風味**による汚染事故..... JA中春別発生件数 **0件** 管内合計では**0件**です。

**安全・安心な生乳生産のためには、生乳処理室  
内外の環境美化・治療薬や農薬などの適正な保管  
そしてメンテナンスされた搾乳機器など行き届いた  
生産環境に努めましょう。**





退職にあたって



高野 哲司

退職にあたり一言お礼のご挨拶を申し上げます。

さて、私こと平成28年3月31日をもって定年退職いたしました。

昭和56年に中春別農協に奉職させていただき、35年間にわたり今日まで勤務できましたことは、これもひ

退職の挨拶



合掌 徳幸

この度、3月31日付けをもちまして定年退職いたしました。

昭和52年7月に中春別農協に採用していただき畜産販売課、牧場課(共和育成牧場)と現場一筋で約39年間、

とえに組合員をはじめ役員の方々の温かいご指導の賜物と心より感謝とお礼申し上げます。

この間、生乳課、北海道酪農検定検査協会幌延事業所(出向)、整備工場、金融課、営農振興課と直接組合員の皆様と関わる仕事をさせていただきました。これまで自分を育ててくださったことに心より感謝を申し上げます。

時とともに時代が変化し、農業情勢も激しく創意工夫の時代となり、組合員をはじめ役員の方々の力量にかかっていると云っても過言では

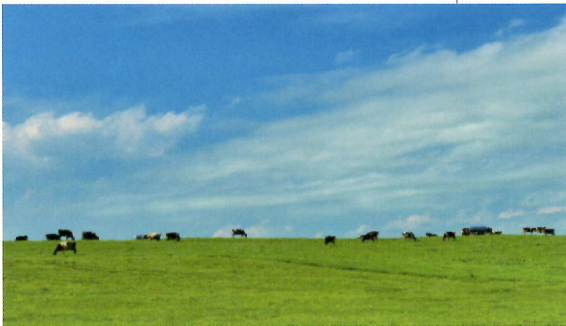
長い様であったという間にこの日を迎えた思いがいたします。お世話になり失敗もしました。学ばせていただいた事も沢山ありますが、組合員、役員皆様にささえられ定年を迎える事ができた事に感謝を申し上げます。職の言葉とさせていただきます。ほんとうに有難うございました。

また、4月1日より再雇用していただきお世話になりますので、よろしくお願いたします。最後に当農

ありません。

なお、4月1日より再雇用として引き続き中春別農協生乳課でお世話になることとなりました。今日までの経験と、皆様方から学んだ数多くのことを糧に頑張つていきたいと思っております。

最後になりましたが、組合員の皆様、役員の方々の皆様のご健康と、中春別農協の益々のご発展をご祈念申し上げます。



協の更なる発展と組合員皆様の益々のご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

2月 乳質乳価一覧表

(単位:円/kg)

		単価	算出基礎	支乳 乳価	前年 同	差	
乳脂肪分		899.588		36.40	34.35	2.05	
無脂乳固形分		569.248		50.15	47.91	2.24	
補給金		5.1352		5.14	4.65	0.69	
計画チーズ奨励金		1.6504		1.65	1.99	-0.34	
乳質 単 価	生菌数	ランク1	2	298,208,412.6kg	3.73	3.72	0.01
		ランク2	0	6,166,635.9kg			
		ランク3	-3	83,444.8kg			
	体細胞数	ランク1	2	264,842,304.1kg			
		ランク2	1	23,121,509.5kg			
		ランク3	-2	2,981,096.2kg			
合計				97.07	92.62	4.45	

2月分乳代支払単価

項目	単価(円)/(kg)%	
乳脂肪分①	36円40銭	
無脂乳固形分②	50円15銭	
補給金③	5円14銭	
チーズ奨励金④	1円65銭	
脂肪率	全道	4.05%
	農協	4.12%
無脂固形分率	全道	8.81%
	農協	8.74%
成分乳価	全道	93円34銭
①+②+③+④=⑤	農協	91円96銭
乳質乳価⑥	全道	3円73銭
	農協	3円69銭
乳代合計	全道	97円07銭
	農協	95円65銭
⑤+⑥	差異	-1円42銭

## 第13回 理事会の動き

平成28年3月30日(水)

### 議案

1. 平成28年度役員と組合の取引基準について
2. 外部出資の増口について
3. 平成28年度貸付金利率の最高限度額について
4. 平成28年度信用供与等の限度額設定について
5. (有)別海町酪農研修牧場への資金貸付について
6. 生産性向上整備助成要領の制定(案)について
7. 平成28年度飼料奨励実施要領の制定(案)について
8. 組合員の法人設立に伴う取引開始について
9. 平成28年度草地畜産基盤整備事業(草地整備型)道営草地整備事業に係る事業計画について
10. 平成28年度草地難防除雑草駆除対策事業に係る事業計画について
11. 平成28年度自給飼料生産性向上対策事業の実施について
12. 平成28年度畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業(施設整備)に係る事業計画について
13. 平成28年度生乳生産維持向上乳牛導入支援事業(案)について
14. リース契約について
15. 特定疾病感染補償互助会規程の一部改正について
16. 平成28年度職員給与表について
17. 平成27年度期末賞与の支給について
18. 平成28年度職員給与の定期昇給について

### 報告事項

1. 組合員の加入について
2. 平成27年度12月末定期監査報告書について
3. (一社)北海道農協経営審査協会による内部審査報告書について
4. 平成28年度理事報酬額の諮問に対する答申について
5. 平成28年度共済担保貸付利率及び貸付要領の改定について
6. 平成27年度2月末営農生産関連実績について
7. 平成27年度草地畜産基盤整備事業(草地整備型)道営草地整備事業に係る自己負担金の精算について
8. 平成27年度草地難防除雑草駆除対策事業(農協・糞尿利活用草地整備事業)に係る自己負担金の精算について
9. 平成28年度(前期)JA中春別選定種雄牛について
10. 固定資産の除却について
11. 固定資産の取得について
12. 生乳抗菌性物質汚染事故に対する生乳補償互助会の支払いについて
13. 特定疾病感染補償互助会の支払いについて

### 協議事項

1. 地区別組合員懇談会の意見集約について

## 第14回 理事会の動き

平成28年3月30日(水)

### 議案

1. 学識経験理事並びに員外監事選任に係る理事会推薦について

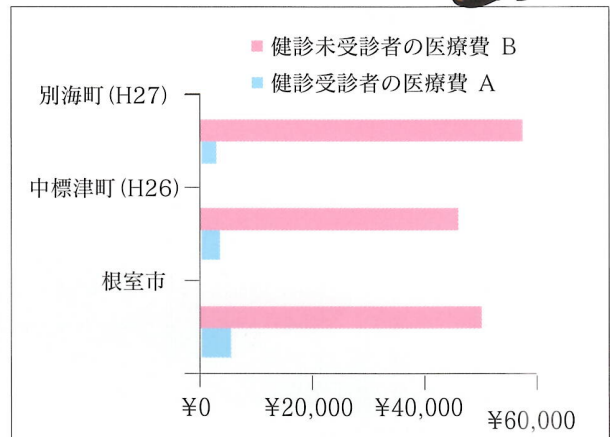
# おじゃまします! 保健センターです



## 「病院に行っている人にも健診を活用して欲しい理由」

健診受診者と健診未受診者における生活習慣病等1人当たりの医療費

	健診受診者の医療費 A	健診未受診者の医療費 A	差額 B - A
北海道 (H26)	¥4,956	¥41,221	¥36,265
北海道 (H27)	¥3,206	¥47,420	¥44,214
国 (H26)	¥6,025	¥34,432	¥28,407
国 (H27)	¥4,254	¥37,883	¥33,629
根室市	¥4,912	¥48,176	¥43,264
中標津町 (H26)	¥3,432	¥45,811	¥42,379
別海町 (H27)	¥2,226	¥57,005	¥54,779



上記は生活習慣病で通院している人の医療費を特定健診の受診者と未受診者と比較したものです。大きな差が出ているのが一目瞭然です。どうしてこんなに差がでるのでしょうか？

健診を受け続けている人は健診結果を活用し生活習慣を見直すことで年々改善して、薬が減ったり、休業に至る人も出てきますし、多くの方が重症化しないで経過しています。

健診未受診者が高額な医療費になるのは①自覚症状がでるまで放置して、重症化してから治療を開始している②生活を見直さずに、単に通院・服薬を続けるだけでは重症化を十分阻止出来ない可能性があります。

多くの方に健診を受けていただき、一人ひとりが健診結果（検査結果）を理解され、必要な生活習慣（食習慣、運動習慣）、喫煙習慣などを見直すことで、健やかな生活を維持できるものとおもいます。

法律には次のように記されています。  
健康増進法より抜粋

（国民の責務）

第二条 国民は、健康な生活習慣の重要性に対する関心と理解を深め、生涯にわたって、自らの健康状態を自覚するとともに、健康の増進に努めなければならない。

## 人事異動

- 定年退職者 発令日 平成28年3月31日付  
**合掌 徳幸** (生産部牧場課長 勤続38年9カ月)  
 引き続き再雇用により嘱託職員として牧場課業務にあたります。
- 高野 哲司** (営農部営農振興課長 勤続35年0カ月)  
 引き続き再雇用により嘱託職員として生乳課業務にあたります。
- 退職者 発令日 平成28年3月31日付  
**小湊 良昭** (総務部付属嘱託職員)
- 人事発令 発令日 平成28年4月1日付  
**友貞 義照** 生産部牧場課長兼務  
 生産部牧場課牧場係長
- 水谷 隆行** 営農部営農振興課長兼務  
 営農部営農振興課営農振興係長
- 齋藤 大輝** 総務部金融共済課 貯金係

## 編集後記

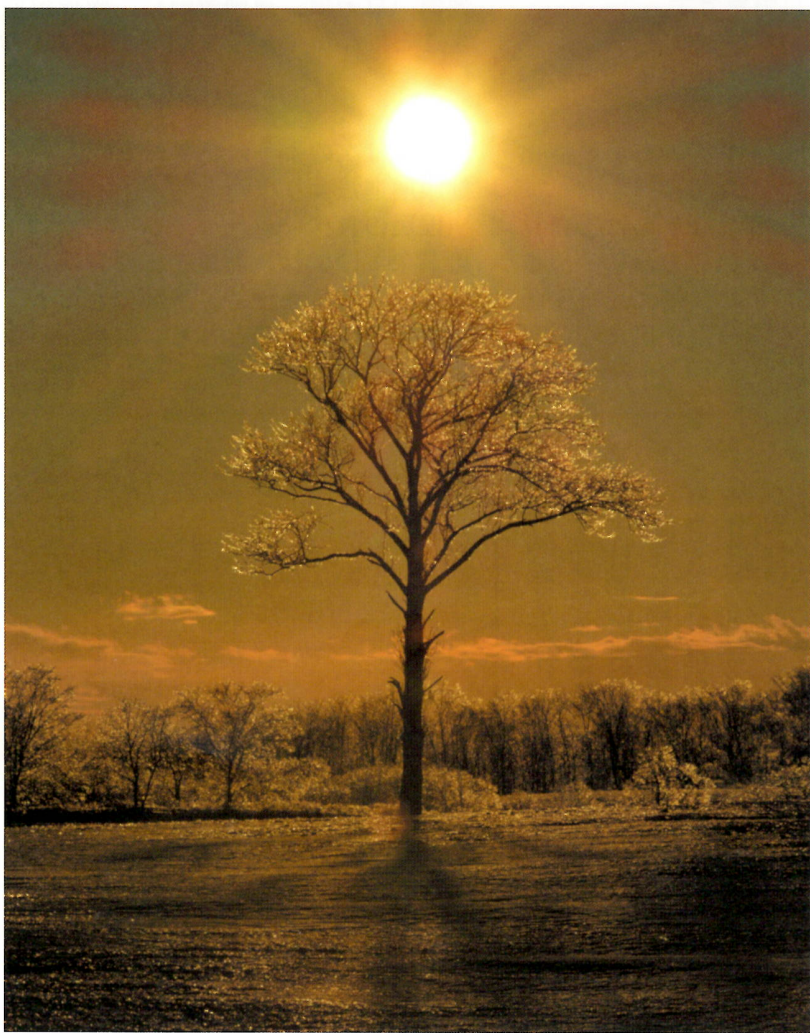
■ 今年には例年に比べ雪が少なく早くもフキノトウが顔を出しているのを見つけ春だなくと実感しました。さて、豊原地区が入植して60年が経ち先月、旧豊原小学校にて「根釧パイロットファーム開拓60年を語り伝える会」が行われました。集まっていた方々が当時のことをとても細かく話してください、昔と今では時代も変わり比べ物にならないほどの苦労だと話してくださいました。

今月号では中春別小学校、中学校卒業式へ取材にいつ、昨年まで在校生として送辞を読んでいた生徒が今年卒業生として答辞をよんでいる姿を見て、一回り大きくなり顔つきも大人っぽくなっている子供の成長はとも早いと感動しました。新たな第一歩を踏み出したみなさん、たくさんの夢と希望をもつて学校生活を充実させてほしいと思います。

# 組合員の広場



作品名「樫ワラの夕照」by 松井繁男



作品名「氷光」by 兼松裕幸